

令和四年度

修士論文・卒業論文題目

荒木菜都美

地方領主の支配域における人神信仰の成立と伝播―大分・宮崎県際地域に分布する富尾権現信仰を事例に―

翁長 尚希

悪党による荘園の変化

生田 春

日本人の水辺をめぐる境界観―牛鬼伝承の淵源をめぐって―

甲斐瑠理子

江戸の食文化

池 陽樹

平安末期から鎌倉前期における豊後国大野・緒方荘―緒方氏・大野氏と大友氏の支配体制について―

亀田 拓也

徳川吉宗とリーダー論

大学院文学研究科

〈史学・文化財学専攻〉

朝川 千聖

九州における須恵器模倣土師器の様相―5世紀末―7世紀初頭を中心に―

池田 奈摘

崇り神としての屋敷神―国東半島の小一郎信仰を事例として―

川畑 友大

島津氏の九州制覇への道のり―足利義視の応仁の乱中及びその前後の動向―

野田 七海

日本における年中行事の受容―近代に始まった行事と欧米行事―

國政 美晴

戦国期大友氏と反大友勢力の攻防戦―秋月氏の歴史から見る北九州の動き―

向井 浩太

古墳時代後期における須恵器甕の法量分析と地域的特色―宗像・遠賀川流域を中心に―

一ノ瀬 遥

仙台城と伊達政宗について

國政 美晴

日本人と鏡―怪談「水鏡」を中心に―

本門 拓也

弥生中期後半における北部九州の南海産貝輪装着集団の社会的役割

岩下 瑛亮

関ヶ原の戦いについて

児玉 碧海

西南戦争の薩摩軍兵士について

吉野 穂香

弥生時代の九州の石製収穫具の研究―北部九州以外を中心に―

梅田 大生

山本五十六の航空総力戦思想

児玉 健介

近代における女性の服飾の変遷

史学・文化財学科

〈日本史・アーカイブズコース〉

青柳 海飛

足利義満の権力確立過程

大野 恵未

遊女が扱う文字と遊郭が残した問題について

佐々木俊輔

禁足地の成立と展開について―対馬の天道信仰を事例に―

麻生 匠馬

書翰から見た岩倉使節団―近代日本の「小国」観―

小田 直樹

キリシタンの文化

柴田 瑚

筑後川の戦いと九州征西府の確立

下川 瑞稀	二・二六事件における青年将校の動機についての分析と考察	林 万葉	民俗芸能の衰退と再興に関する課題についてー築上町の流鏝馬行事の再興を事例にー	持留 峻大	島津斉彬の実像に迫る
高橋 美穂	西日本の水害を中心に見る近代の自然災害	稗田 脩也	中世の社会思想から見る皇国史観の源流	森山 琴美	南北朝期の豊後国情勢ー玖珠城と高崎城の戦いを中心にー
竹下 亜美	過疎化地域における民俗芸能の保存と活用についてー国東市諸田地区の御田植祭を事例としてー	平川真菜見	佐賀藩について	山崎日向穂	応仁の乱と気候変動は関係するか
竹下 涼太	肥後国衆に関する基礎的考察ー天小十五年一揆を中心にー	福田 花梨	流行り病と信仰ー麻疹信仰の衰退を事例にー	山本涼太郎	忍という存在
田中 一成	兵事関係資料からみた徴兵制の実態ー東国東郡を例にー	藤井 樹	現代社会における民話の再構成についてー美少女戦士セーラームーンと竹取物語の関係性を事例にー	脇坂 萌生	喫茶から茶道へー千利休を中心にー
田辺みさき	明治政府による内国博覧会	増田優之介ロイ	「織田信長の実像と天下布武」について	渡邊 瑠惟	源頼朝の権力拡大の過程にみる鎌倉幕府の成立史について
谷崎 史也	キリスト教禁止の高札撤去の意味と信教の自由	松井 瞭弥	本能寺の変を企てた正体	安倍 康平	アメリカ合衆国における人種差別とそれから発展した現代に残された文化
多野 大心	重要文化財 熊本城について	松岡 実李	軍事教練を通じて、学校は軍と学生をどうつなげていたか	大久保威幸寿	曹魏の九品官人法についてー中国史の人材登用法ー
玉木 堅紳	西郷隆盛と薩長同盟	松富 絢音	幕末期民衆の負担と情報と意識	大坪 純也	ドイツ大学史における18世紀の位置づけ
玉那覇裕太	沖縄の墓地について	松本 亜巳	北条政子ー鎌倉幕府での政治的役割と立場の変化についてー	窪田 滉奨	イタリアのナシヨナリズムの発展
辻 幸子	南北朝期九州における両朝の勢力関係と内乱における大原合戦の重要性	水口 詩菜	熊本獅子舞の変容とその要因ー新町と川尻の獅子舞を比較してー	後藤 裕明	ローマ帝国における帝国内交易および東西交易について
恒吉 利紀	浮世絵の実態と影響力	水田 美伶	産育習俗の祈願についてー須恵町の守母神社を事例にー	近藤 唯実	東アジア世界の朝鮮三国
富来 涼菜	東京裁判ーなぜ「勝者の裁き」といわれるのかー			酒井 鈴音	『金瓶梅』の人物描写と婚姻観についての考察ー『水滸伝』との比較を手掛かりにー

武川 舜 アレクサンドロスへの支配に対する抵抗と服従

〈考古学・保存科学コース〉

大井 悠矢 大学所蔵の出土金属製品の保存修復

田中 誠大 近世の魔女狩り

明日 天良 縄文時代を中心としたイヌと人の関係性を出土状況から考察する

河野 響 古代ギリシア世界の神殿形式と分布

陳 昊 北宋哲宗朝元祐年間における党争について

安座間喜久 グスクの軍事的要素からみる他地域との関係性

工藤 大和 装飾古墳の文様の変遷と起源について

鄭 叠念 文禄・慶長の役における明の情報収集及び戦況に対する影響

有安 遼平 大分県内から出土する瓦質土器とその関連性

児島 康介 高麗茶碗研究から見る日本茶碗との関係性について

鐵岡 昂大 人種差別と奴隷貿易 イギリス帝国の闇

安樂 陽大 水害における文化財レスキュー作業と今後の対策について

佐藤 綾音 眉庇付冑の分布と庇部文様

中村 佳奈 神聖ローマ帝国の「帝国改造」を経て起きた変化と影響「帝国クライス」と帝国議会を中心に

伊東 陸 大分県の摩崖仏「劣化状況と今後の保存対策について」

重松 良紀 縄文土偶の出土状況から探る製作目的と使用用途

中村 心太 戦国後期から中国統一に至る秦の「法」の変遷と社会への影響

岩男 美咲 日本刀における形態の変遷について

田中 侑 中世博多遺跡群から見る鍛冶と鋳物師の分布について

原見依利香 ドイツ統一戦争におけるプロイセンの勝因と世界に与えた影響

岩元 愛莉 旧日向国における隼人の墓制に関する研究「地下式横穴墓の武器の出土状況から」

田中 良英 日本出土の三角緑神獣鏡の製作地について

比嘉 優希 ヴィクトリア朝の生活文化

浦川 翔太 筑後の近世城郭遺跡について「久留米城と柳川城から」

棚田 優人 終末期古墳から見る豊前国と畿内の繋がり

三重二千夏 古代エジプトの死生観について

江頭 直希 熊本県と長崎県における台付甕の分布と分類について

豊田淳之介 鰐口について 大分県内の鰐口の比較

室井 就 周王朝の東遷から齊桓晋文の時代へ「統治権の問題を手掛かりとして」

江口 幸希 有明海・八代海沿岸地域における横穴式石室の分類と編年

馬場 弥礼 城郭遺跡の石垣保全のあり方について

山田椋太郎 王莽の諸政策「儒教理念を中心として」

濱田 一希 熊本城の櫓の機能と性質について

深田 龍 磐井の乱と関係した古墳について

渡邊 大地 第一回十字軍の歴史的意義

福元 崇斗 鉄道遺産について

福本 都	水中遺跡の保存・修復と活用
本田 大和	出土品から見る火縄銃の伝来と普及
三池 拓実	X線透過試験の応用の歴史と大 学所蔵遺物のX線データの整理
銘苺 聖苺	トカラ列島から奄美・沖縄の琉 球文化圏の墓制
山田 陸	天目碗の流通及び受容について ―中国産天目碗から日本産天目 碗へ―
幸 稔温	中世大友府内町跡から出土する 16世紀末の陶磁器組成に関する 研究―特に小野編年碗E群I区類 と皿F群について―